

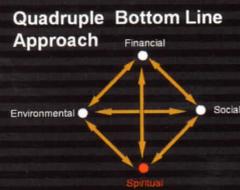


★さらに拡大される「環境的プランニング」の分野について [Hitesh Mehta, ASLA, EDSA]

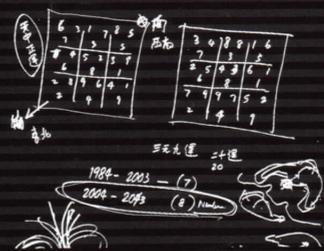
エコツーリズム・プランニングとエコロジ・デザイン・アプローチの基本原則はなんだろうか。それには自然環境、社会、経済、スピリチュアルの4つの面がある。

ホリスティック・マスター・プランニングとサイト・デザインは、自然環境内に配置される施設、環境、

文化、スピリチュアルなもの保全にとって重要である。中国の風水に古くから存在する特徴は“Chi (エネルギー)”と土地の神聖性に関する理解である。プランニングのスピリチュアルな側面に目を向けることは、ランドスケープ・アーキテクトが次の世紀に向かっていく上で重要となってくる。



スピリチュアルな側面に注目することが新しいランドスケープの可能性となる



✓ チームメンバーの一人である風水マスターがこのプロジェクトの計画地を分析したときのスケッチ

Conceptual Master Plan



★風水を利用してプランニングをした例

中国にある Samoaping River Lodge と呼ばれる5つ星のブティック・ロッジの開発を含め、4つ星のエコロジ、3つ星のビレッジロッジ、Samoaping ビレッジ内のビジターセンター、竹のミュージアム、店舗と市民センター、新しい散策路の設置が今回紹介するプロジェクトである。なお、私たちが最初のミーティングに参加した際には、すでに建設中であった。

このクロスウォーターズ・エコロッジのプロジェクトは、竹林に囲まれた土地の特徴を反映し、竹に焦点を当てた計画である。竹は食品、料理、家具、紙、楽器、船、家など、生活の中でいろいろな形で使われているので、中国では「人々の友達」と呼ばれている。

このロッジは、竹を使ったプロジェクトでは世界一の大規模プロジェクトとなった。また、竹を使用した建築構造物としても注目されるだろう。竹のスピリットはランドスケープ、建築、インテリアデザインの中で生かされることになった。

私たちは最初にクライアントのために国際的なコンサルタントチームを組んだ。チームには世界的に有名

な、アイルランド出身でバリ在住の竹のインテリアデザイナーやコロンビア出身の竹で橋や塔を建てる建築家が招待された。エンバイロメンタル・アーキテクトはオーストラリアから招待した。それに加えて地元の学者や専門家が招かれ、彼らが現地・中国のエコロジー、鳥学、植物学、ツーリズム・プランニングなどについての情報をコンサルタントチーム与えた。

このエコロッジは、中国の庭の歴史にも焦点を当てている。ボタニカル・ガーデンは、中国中から竹を集めたショーケースとなっており、訪れた人々が竹に関する教育体験をできるように計画された。ロータス・ガーデン、ムーン・ガーデン、7哲人のタオ・ガーデン、竹のスカulptチャー・ガーデン、パタフライ・ガーデン、オーガニック・ライス、ベジタブル・ガーデンなども合わせて計画された。

クライアントは現地にエンバイロメンタル・チームを設置し、施工中の細かい環境への影響も監視している。さらに施工会社は「サステナブルな施工ガイドライン」を発行している。

1 中国に集まったチームメンバー。2 Crosswaters Ecolodge のコンセプト・プラン (drawn by Matt Lewis, EDSA)。3 竹だけで設計された建築物が竹林に溶け込んだ風景。4 竹のみで建てられた橋の内部。5 ランドスケープ・アーキテクトが体当たりでその土地を理解しようと、竹林の中に横たわって瞑想する